

第1回意見聴取会議資料

総合リハビリテーション支援拠点施設整備に係る基本計画

部門別機能等(案)

2023年8月24日

## 目次

1. リハビリテーション機能
  - (1) リハビリテーション支援機能
  - (2) 心身障害者福祉センター(附属リハビリテーション病院)
  
2. 心身障害者福祉センター
  - (1) 障害者支援施設 あしはらの丘
  - (2) 生活訓練事業所 ひまわり
  - (3) 相談支援事業所 TOMO
  - (4) 体育館
  - (5) その他
  
3. 洛南寮
  - (1) 養護老人ホーム
  - (2) 救護施設

# 1. リハビリテーション機能

## (1) リハビリテーション支援機能

### 1) 人材育成

- 各拠点内施設との連携によるリハビリテーションに携わる医師・専門職等の人材育成強化
  - ・各拠点内施設での受入による実地研修
  - ・先進リハビリテーション等の課題別研修
  - ・市町村・地域包括支援センター等への派遣人材の養成研修 等

2

# 1. リハビリテーション機能

## (1) リハビリテーション支援機能

### 2) 地域移行促進

- 施設入所者など高齢者や障害者の地域移行支援等に繋がるリハビリテーション提供
  - ・リハビリ総合相談コーディネーターの設置
  - ・高次脳機能障害外来や相談窓口の設置
  - ・介護予防事業等の支援 等

### 3) 先進的リハビリテーション等の情報発信

- 拠点施設における先進的リハビリテーションの取組やモデル事業を実施し、その内容を関係機関へ情報発信
  - ・障害者スポーツの医科学サポートの実施
  - ・最新の介護機器・福祉用具等の展示 等

# 1. リハビリテーション機能

## (2)心身障害者福祉センター(附属リハビリテーション病院)

### 1) 現施設利用状況

病床数	25床
-----	-----

#### 【外来患者】

- 2018年度～2022年度の外来患者数は減少傾向  
2018年度:18,542人/年      2022年度:14,277人/年
- 高次脳機能障害専門外来患者数は増加傾向  
2017年度:973人/年      2021年度:1,096人/年
- 外来患者の平均年齢は高くなる傾向。  
2017年度:61.72歳      2021年度:63.86歳

#### 【入院患者】

- 2018年度～2022年度の入院患者数は減少傾向  
2018年度:5,628人/年(病床利用率61.7%)  
2022年度:4,545人/年(病床利用率49.8%)
- 入院患者の平均年齢は高くなる傾向  
2017年度:70.22歳      2021年度:72.31歳

4

# 1. リハビリテーション機能

## (2)心身障害者福祉センター(附属リハビリテーション病院)

### 2) 診療科目

- 現状の診療科は継続し充実
- 洛南寮入所者への対応や各施設利用者の高齢化進展を考慮した診療体制構築  
・内科の再開と充実    ・新たな診療科の診療体制確保を検討

継続	整形外科、リハビリテーション科、脳神経内科、精神科、泌尿器科、 歯科、内科【再開・充実】
新規検討中	脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、認知症外来(脳神経内科・ 精神科)

## 1. リハビリテーション機能

### (2)心身障害者福祉センター(附属リハビリテーション病院)

#### 3) 機能の方向性

##### 【リハビリ関係】

- 現疾患別リハビリテーションは継続。将来的には診療科目・患者疾病を踏まえ検討
  - ・現疾患別リハビリテーション:運動器リハ、脳血管疾患リハ
- 先進的なリハビリテーションの提供として下記導入を検討
  - ・磁気刺激装置   ・VRリハ   ・ドライビングシミュレータ   等
- 小児リハビリテーションは引き続きこども発達支援センターとの連携体制を検討
- 洛南寮入所者などの各施設利用者へのリハ専門職の派遣

6

## 1. リハビリテーション機能

### (2)心身障害者福祉センター(附属リハビリテーション病院)

##### 【手術関係】

- リウマチ・人工関節置換術等の整形外科系疾患の手術手技拡充に向けて、医師確保・医療体制構築を目指す。
  - ・肩関節・股関節の人工関節置換術   等

##### 【相談関係】

- リハビリ総合相談室(仮称)を新規設置し、総合リハビリテーション支援拠点の窓口機能や地域連携・地域移行促進
  - ・各種相談のワンストップ窓口
  - ・地域連携コーディネーター配置

## 2. 心身障害者福祉センター

### (1) 障害者支援施設 あしはらの丘

#### 1) 現施設利用状況

施設入所支援	50名	生活介護	50名
--------	-----	------	-----

- 施設入所支援(定員50名)の利用率は90%以上で推移  
2021年度：92%
- 入所者の年齢構成は65歳以上の高齢者が占める割合が高く、  
年々増加傾向  
2019年4月：42.9%      2022年4月：40.5%

8

## 2. 心身障害者福祉センター

### (1) 障害者支援施設 あしはらの丘

#### 2) 機能の方向性

- 現施設同様、入所者が健康で安心した生活ができるよう障害福祉サービスを提供
- 入所者の高齢化を見据えた附属リハ病院との連携による医療やリハビリテーションの提供強化
  - ・医療的ケアの提供      ・自立支援に向けたリハビリ導入      等
- 施設入所支援・生活介護の定員数は維持
- 居室は利用者の住まいを意識し、個室化・ユニット化で整備。  
感染症対策の強化。
- 緊急受入への対応強化として、新たに定床型5床程度で短期入所定員数を増加するとともに、次の利用者を想定した設備強化
  - ・高次脳機能障害や強度行動障害      ・高齢化に伴う認知症患者
  - ・新興感染症患者      等

## 2. 心身障害者福祉センター

### (2) 生活訓練事業所 ひまわり

#### 1) 現施設利用状況

自立訓練(生活訓練)	10名/日
------------	-------

#### ■ コロナ禍により、利用者数は減少傾向

2020年度：829人/年      2022年度：632人/年

#### 2) 機能の方向性

- 社会復帰・社会参加の推進に向けた日中活動の検討
- 設備・環境を整備
  - ・生活訓練プログラム充実
  - ・就労訓練・地域移行推進に繋がるプログラム検討
- 洛南寮などの入所者に対する生活訓練プログラムの提供

10

## 2. 心身障害者福祉センター

### (3) 相談支援事業所 TOMO

#### 1) 現施設利用状況

#### ■ 相談支援件数130～180件程度で推移

2022年度：151人/年

#### 2) 機能の方向性

- 地域移行推進に向けたTOMOをベースとした地域移行ネットワークの構築、相談機能充実
  - ・地域移行・定着支援センターの新規設置
  - ・在宅リハビリテーション、在宅改修、各種介護機器等の相談充実

## 2. 心身障害者福祉センター

### (4) 体育館

#### 1) 現施設利用状況

- コロナ禍により、体育館利用者は減少  
2018年度：62,439人/年      2022年度：25,356人/年
- 利用者は障害者の占める割合が高い。  
2022年度：81.6%

#### 2) 機能の方向性

- パラリンピック競技ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設(NTC)であり、京都府のパラスポーツの拠点として各種目の設備を充実
  - ・現施設で定着している種目の更なる設備充実  
パワーリフティング    アーチェリー      等
  - ・新種目への対応に向けた設備検討  
車椅子ラグビー・バスケット・テニス      等
- 高齢者のフレイル予防として、ロコモ体操等の取組み強化

12

## 2. 心身障害者福祉センター

### (5) その他

#### 1) 補装具製作室

- 補装具の判定、調査、業者への指導、利用者の相談は継続対応
- 休止中の補装具製作・開発の再開有無は引き続き検討

### 3. 洛南寮

#### (1) 養護老人ホーム

##### 1) 現施設利用状況

養護老人ホーム	100名	※左記定員数に特定施設入居者生活介護30名を含む。
---------	------	---------------------------

- 利用率は90%以上で推移していたが、近年は減少傾向  
2022年度末:71%
- 年齢構成は75～84歳が最も多い。  
2021年度:全体の49%
- 要介護度は半数以上が介護認定(要支援1～要介護5)
- 介護サービス(特定施設入居者生活介護)利用者・要介護3以上の方は増加傾向  
2022年度:介護認定の割合51% 要介護3以上の割合27%
- 虐待等緊急課題のある高齢者の緊急利用は4人/年程度で推移  
2021年度:4人/年

14

### 3. 洛南寮

#### (1) 養護老人ホーム

##### 2) 機能の方向性

- 入所者が健康で安全な生活や自立・社会参加できるよう福祉サービスを提供
- 高齢化の進展に伴う入所者の介護度増加や多様なニーズへの対応強化
  - ・附属リハ病院との医療
  - ・リハビリ連携
  - ・施設のバリアフリー化
  - ・感染症対策
  - ・特殊浴槽整備
  - 等
- 府立施設としての役割を考慮し定員数を維持しつつ、将来的な福祉・介護ニーズの変化への柔軟な対応を考慮して整備
- 居室は居宅に近い環境を提供できるよう、個室化・ユニット化で整備

### 3. 洛南寮

#### (2) 救護施設

##### 1) 現施設利用状況

救護施設	100名
------	------

- 居宅生活訓練事業は2017年事業開始以降5名が地域移行
- 一時入所事業は年度によってばらつきがあるが一定数利用
- 利用率は90%以上で推移  
2022年度末:95%
- 府内全域から入所者を受入
- 年齢構成は60歳以上が占める割合が高い。  
2022年度:全体の69%

16

### 3. 洛南寮

#### (2) 救護施設

##### 2) 機能の方向性

- 府立施設としての役割を考慮し定員数を維持
- 居室は利用者の住まいを意識し、個室化・ユニット化で整備
- 現施設同様、社会復帰・社会参加の推進に向けたサービス提供
- 認定就労訓練強化として、訓練プログラムの充実とそれに伴う環境・設備整備
- 就労移行支援事業、就労継続支援B型事業の実施有無についての検討